

鬼龍院花子の生涯（1982）

メディア 映画

ジャンル ドラマ 任侠・ヤクザ

製作国 日本

色彩 Color

時間 146分

初公開日 1982/06/05

公開情報 東映

【解説】

宮尾登美子の同名小説を五社英雄が映画化。夏目雅子のセリフ「なめたらいかんぜよ」は流行語となった。土佐の侠客である鬼龍院政五郎は、大正10年に松恵という養女を取った。松恵は政五郎の身の回りの世話をしながら成長する。政五郎は末長という男と対立していたが、末長の妻が経営する料亭からさらった娘つるを妾にした。つるは翌年、政五郎の娘を出産。娘は花子と名付けられた。花子が女学生になったころ、政五郎は高校教師の田辺と知り合い意気投合、十六歳になった花子の婿にしようとする。しかし田辺は松恵と愛し合うようになっていた。

【クレジット】

監督	五社英雄	
企画	佐藤正之	
	日下部五朗	
プロデューサー	奈村協	
	遠藤武志	
原作	宮尾登美子	
脚本	高田宏治	
撮影	森田富士郎	
編集	市田勇	
音楽	菅野光亮	
助監督	清水彰	
出演	仲代達矢	Tatsuya Nakadai 鬼龍院政五郎
	岩下志麻	歌
	夏目雅子	松恵
	仙道敦子	松恵（少女時代）
	佳那晃子	つる
	高杉かほり	花子
	中村晃子	牡丹
	新藤恵美	笑若
	室田日出男	相良
	夏木勲	兼松
	佐藤金造	六蔵
	アゴ勇	Ago Isamu 丁次
	益岡徹	精
	松野健一	冬喜

岩下浩		山村建彦
誠直也		権藤哲男
梅宮辰夫		山根勝
岩尾正隆		駒田重蔵
成田三樹夫		辻原徳平
内田稔		梅田貫吉
小沢栄太郎		田辺源一郎
谷村昌彦		白井善七
山田良樹		教師
桜井稔		拓（少年時代）
役所広司	Koji Yakusho	近藤
浜田寅彦		加藤医師
笹木俊志		宮崎
宮城幸生		島田刑事
富永佳代子		きわ
森源太郎		刀商
津奈美りん		小芳
内田良平		末長平蔵
夏木マリ	Mari Natsuki	秋尾
山本圭		田辺恭介
丹波哲郎	Tetsuro Tamba	須田宇市
綿引洪		三日月次郎